

入場無料  
予約不要

2020年1月12日 (日)

# BIO Mimetics

バイオミメティクス市民セミナー・対話篇

## 第97回 アントロポセン(人新世)とバイオミメティクス その4: 倫理学



近年の環境倫理学の中では、アントロポセン(人新世)とも呼ばれるほどの大きな環境の変化、さらに大規模な気候変動を引き起こしてしまったのは、人類のモラルの欠如のためだとも言われています。このような事態に至ったのは、道徳の問題だということです。

何とかなるだろうという根拠なき楽観論と現実を直視しない自己欺瞞、未来世代のことを考えない無責任、環境の劣化にともなう社会的不平等の拡大の無視、生態系や生物多様性について配慮しない人間中心主義という傲慢などによって、アントロポセンは生じたこととなります。もはやこの社会は持続可能ではないとさえ言われます。

環境問題を改めて倫理・道徳の問題として考えることによって、どのような未来を選ぶことができるのかを考えてみたいと思います。



## アントロポセンと 環境倫理

### 蔵田 伸雄

北海道大学大学院文学研究院 教授  
応用倫理・応用哲学研究教育センター長

主催: 北海道大学総合博物館  
共催: 高分子学会北海道支部  
北海道大学 電子科学研究所  
特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会  
高分子学会バイオミメティクス研究会  
公立千歳科学技術大学地域連携センター

北海道大学総合博物館  
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
問合せ先: TEL.011-706-2658 FAX.011-706-4029  
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

会場: 北海道大学総合博物館 3階 北講義室(N308)  
札幌市北区北10条西8丁目

時間: 午後1時30分から午後3時30分